

# 第5回 水俣病を伝えるセミナー プログラム概要

8/7 (木)

## 講師

8:45 受付開始  
場所：水俣学現地研究センター

9:00 開会

9:10 講義Ⅰ 田尻 雅美さん  
「胎児性水俣病患者の過去・現在」

10:00 講義Ⅱ 井上 ゆかりさん  
「漁村の暮らしと水俣病」

10:50 フィールドワーク  
百間排水口→坪段→茂道  
※学園大バスにて移動

12:30 昼食 (南里)

13:30 暮らしの場で話をきく  
場所：茂道公民館

講演Ⅰ 佐藤 英樹さん  
「胎児性世代の裁判では  
何を求めて闘っているのか」

講演Ⅱ 佐藤 巽さん  
「水俣市茂道での漁業と水俣病」

15:25 意見交換・自由討論  
「知らないのは罪  
知ったかぶりはもっと罪」  
場所：水俣学現地研究センター

16:30 閉会



田尻 雅美さん

水俣学研究センター研究助手

胎児性水俣病の研究を続ける  
センターでは、健康医療福祉相談  
に携わる



井上 ゆかりさん

水俣学研究センター研究助手

漁村における水俣病被害を研究  
センターでは主に水俣学関連資料の  
データベース化に携わる



佐藤 英樹さん

第2世代訴訟原告団長

1954年に水俣市茂道に生まれる。  
両親、祖母は、水俣病認定患者。  
親族内にも水俣病患者が多数いる。



佐藤 巽さん

水俣病患者

15歳から茂道で漁師をしていたが、  
漁業補償の一環でチッソに勤めた。  
佐藤英樹さんの叔父。